

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	高齢者生きがいづくり推進事業	2-29
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	森本 栄樹

1 事業のアウトライン			
(1) 事業概要及び交付金額等の積算根拠	寿ふれあい農園事業・・・市内に農園を設置して市民に貸与し、作物を栽培し収穫してもらう。 陶芸教室事業(りんくる・横町寿の家)・・・(りんくる)毎月3回陶芸教室を開催する。(横町寿の家)毎月1行程(作陶から素焼・本焼・窯出まで)の陶芸教室を実施する。 舞踊教室事業・・・週2回舞踊教室を開催する。		
(2) 事業開始年度	平成12年度	(3) 事業終了年度	未定
(4) 総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2) 高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	社会参加の促進	
	施策コード	20202	

2 事業の内容	
(1) 事業の目的 何のために	高齢者が生きがいと張り合いのある生活を送れるようにする。
(2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	家庭に閉じこもりがちな高齢者が陶芸、舞踊、農園などの各種活動を通して「生きがい」を持ち、健康に過ごせるようにする。
(3) 事業の方法  どんな手段を講じるのか	寿ふれあい農園事業・・・市社会福祉協議会に業務を委託して、市が賃借した土地2箇所を農園として開設し、希望する市民に貸与する。 陶芸教室事業・・・(りんくる・横町寿の家)陶芸教室において、市から依頼した講師が希望者に対し、陶芸を教える。 舞踊教室事業・・・横町寿の家の舞踊教室において、市から依頼した講師が希望者に対し、日本舞踊(リズム体操)を教える。
(4) 19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6) 事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1) 直接事業費(千円)	4,031	4,031	3,197	3,557
(2) その他の間接経費(千円)				
(3) 従事正職員の人件費(千円)	1,295	1,243	897	
総事業費((1)～(3)の合計:千円)	5,326	5,274	4,094	
事務に従事した正職員延べ人数	0.15	0.15	0.10	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)												
収入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支出	区分	H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)											
	計(B)	0	0	0	0			計	0	0	0	0
	(A/B)											

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
寿ふれあい農園の面積(平方m)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	7,231	7,231	7,231	
	達成率	-	-	-	
陶芸教室(りんくる・横町寿の家)の開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	-	289	292	
	達成率	-	-	-	
舞踊教室の開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	-	92	90	
	達成率	-	-	-	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
寿ふれあい農園の利用者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	128	126	130	
	達成率	-	-	-	
陶芸教室((りんくる・横町寿の家)の参加延人数(人))	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	-	3,300	3,645	
	達成率	-	-	-	
舞踊教室の参加延人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	-	519	500	
	達成率	-	-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	イ 成果
(2) 効率性			ウ 事業内容
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容
(3) 公平性			ウ 事業内容
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容
		(1)~(4)の評価ポイント合計	
		総合評価の参考にしてください。	
		7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
		14	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	事業として良好に実施できたが、利用者の固定化が見られる。	
(2) 今後の方向性・課題		今後、増加する高齢者の生きがい対策として、メニューの検討も含め継続する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		*
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
団塊の世代の高齢化に向けたメニューの検討を行う。			

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	高齢者の生きがいづくりには寄与しているが、利用者・参加者の固定化が進んでいる。	
(2) 今後の方向性・課題		高齢者の多様なニーズに応える事業展開について検討する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
事業メニューの検証を行う。			